

海外情報

No.2

| | |
|-------------------------------|--|
| 調査者 | 宇野 勲 |
| 情報ソースの刊行日 | 2020年4月16日 |
| 情報ソースの調査日 | 2020年5月1日 |
| 日本理学療法士学会 HP に公開された日 | 2020年5月1日 |
| 日本語タイトル | COVID-19 症例の重症 & 死亡例の危険因子。システマティックレビューとメタアナリシス。 |
| 情報ソース | Journal of Infection |
| 情報のカテゴリー | メタ解析論文 |
| 発信地域 | 中国 |
| DOI | 10.1016/j.jinf.2020.04.021 |
| URL | https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/32335169 |
| 要約 | <p>2020年3月20日までに Pubmed, Embase, Web of Science, CNKI に登録されている 13 論文（対象者 3027 人）が解析に含まれた。</p> <p>患者特性では、男性、65 歳以上、喫煙者。</p> <p>基礎疾患では、高血圧、糖尿病、心血管疾患、呼吸器疾患。</p> <p>臨床症状では、発熱、息切れまたは呼吸困難。</p> <p>検査値では、AST>40U/L、クレアチニン\geq133μmol/L、高感度心筋トロポニン I>28pg/mL、プロカルシトニン>0.5ng/mL、LDH>245U/L、D ダイマー>0.5mg/L が、それぞれ COVID-19 の重症化の予測因子であった。</p> |
| 最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？ | <p>喫煙や糖尿病などの基礎疾患は、理学療法士が予防領域で介入することで改善可能な可能性があります。</p> <p>外出自粛で基礎疾患が増悪したり、ストレスから喫煙量が増えたりする方も多くなる可能性がありますので、予防理学療法が重要になります。</p> |